

1932年から1963年に提出された 生徒学生提出論文

平 井 孝 典

はじめに

今回紹介するのは、本学の附属図書館で2005年ごろまでに職員により館内および退職教員から収集された生徒学生提出論文の一群である。長期間、未整理のまま一部が図書館に残された理由や経緯などは不明である。多くは、館内に残されたものは担当教員に返却される予定であったが



生徒学生提出論文

されなかったもの、担当教員の手元に残されたものは単に廃棄しなかったものと思われる。本学では、卒論、修士論文については、1925年から1952年までの期間を除いて、第一回の卒業生以来、ゼミ担当教官から図書館に渡され、保管・閲覧されてきた。今回の資料群は、1932年から1963年に作成提出されたもので、いままで欠如してきた期間の卒論のテーマの選び方などについて確認ができる。また、

図書館側でとくに製本などの処置はとられていないので、提出されたときの状態をみることができる。製本されると通常見られないような、受付印、受け入れ時の職員によるメモなどもある。

整理の方針としては、①収集したままの順序で一覧をつくり、②論文がどのようなものであるかを確認し、その上で③卒業年別に並べなおした。保存は、中性紙に入れる以外は、収集したままとしている。

1. 収集した資料の一覧

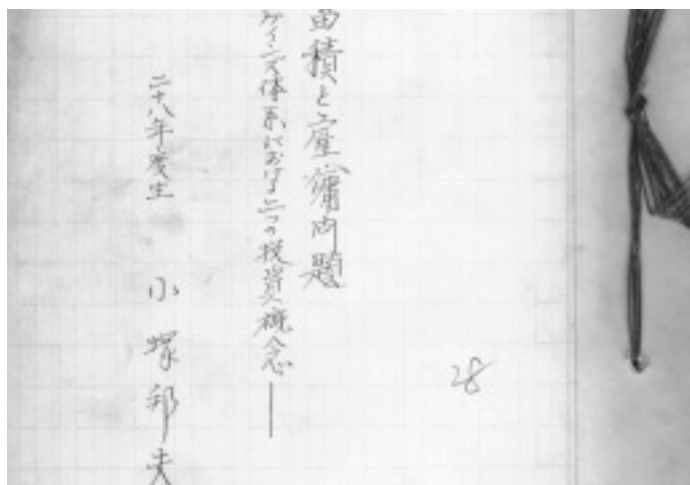
表1で示したものは、図書館でブックトラックに載せられたままになっていたものを、その順

序で入力したものである。表紙裏表紙などから得られる情報を書き込んだが、ここではその情報の一部を示した。講評結果、メモなどについては本稿には載せていない。

2. 資料群の特徴など

この資料群のうち論文は合計 383 点ある。ほかに独立して綴じられている梗概(要旨)が4点、提出時に職員が教員に渡したメモが一点ある。論文の内訳は、卒業論文が102点、懸賞論文が73点で、他は卒業論文か懸賞論文、あるいは卒業論文に代わるような課題、授業の課題などとみられる。表紙のみ、論文の一部のみ残存しているものもある。

使用された原稿用紙は、市販の一般的なもののほか、最も多い「小樽高商研究室制定論文用紙」が138点、それ以外のもの数は一桁で、「小樽高商消費組合特選」論文用紙が6点、「小樽経済専門学校論文用紙」が5点、「小樽高商共済部特選」論文用紙が4点、「小樽経済専門学校経済研究所」論文用紙が2点、「小樽高等商業学校論文用紙」で縦線のみのもものが2点、市販のノートに書き込まれたものが2点、「小樽経済専門学校北方経済研究所」論文用紙が1点、「小樽高商編纂部」論文用紙が1点である。また、「小樽庁立小樽商業学校」原稿用紙と「大泊高等女学校作文用紙」を用いたものがそれぞれ1点ずつある。2種類以上の原稿用紙が使われている場合には、最も分量の多いもので点数を数えている。例えば彦根高等商業学校では、基本的には全て横書きとされているが、本学の場合は縦書きである。ただし、今回の資料群の中で一点のみ左から右に縦書き叙述されているものがあつた。しかし、講評者やゼミ担当者による意見などは特に付されていない。



小塚邦夫氏(現・社団法人緑丘会 事務局長)の論文

紙」を用いたものがそれぞれ1点ずつある。2種類以上の原稿用紙が使われている場合には、最も分量の多いもので点数を数えている。例えば彦根高等商業学校では、基本的には全て横書きとされているが、本学の場合は縦書きである。ただし、今回の資料群の中で一点のみ左から右に縦書き叙述されているものがあつた。しかし、講評者やゼミ担当者による意見などは特に付されていない。

3. 原秩序をデータ上で復元

編纂室では、スペースの都合上、受け入れ順に番号をつけて資料の保管をしている。アーカイブズで必要とされる「原秩序」の復元は、学内のデータ上、あるいは目録の上で作成を試みている。資料2で示したものは、単純に卒業年別に並べなおしたものである。この時期は、学生関係の情報の欠落が多く、卒業アルバムと卒業生の組織である社団法人緑丘会の会員名簿なども利用して確認した。現段階では、作成者の卒業年、あるいは作成者が卒業したかどうかについて確認

途中のものがあり、それらについては調査中とした。

判明しないのは、①緑丘会に届出がされていない、②論文は提出したが仮卒業などのまま卒業していない、③姓または名前、あるいは両方の変更(在学中や卒業後)、などが考えられる。卒業アルバムは五十年史発行を期に図書館で収集保管されるようになったが、発行されていない年もある。

まとめにかえて

総務省の要件を満たす歴史的資料を扱うアーカイブズ組織の発足までは、百年史編纂における部分的な利用と自己情報コントロール権に基づく請求による公開にとどめざるを得ない。というのも、附属図書館で提供されている卒業論文とは異なって、成績評価関係のメモが書き込まれているからである。言い換えれば、京都大学大学文書館や東北大学史料館のような組織が設置されれば、公開範囲の基準を時間軸で定め、順次、公開することができるようになる。ともあれ、今回の資料群も学生の具体的な活動成果を知る上で、重要な史料となる。

資料1 <受け入れた状態>

<生徒学生提出論文> (1932年～1963年)

★は物理的な破損等のため不明

	執筆者	提出または「擱筆」	論 文 名
F-20050001	中山一郎		国際経済学 為替論
F-20050002	宮脇保雄		美濃の陶業
F-20050003	坪沼英雄		支那学生運動に就いて
F-20050004			大東亜共栄圏への道
F-20050005	喜多鉄夫		起ち上った蒙古民族
F-20050006	関根幸雄		戦後に於ける我国金融制度の特質について
F-20050007	高橋常次	1935/01/25	産業合理化と科学的管理法
F-20050008	丸山秀夫		戦後我が国の経済状態
F-20050009	J. Ishimura		技術革新に伴う管理組織の合理化とその問題点
F-20050010	佐藤隆道		技術革新に伴う管理組織の合理化とその問題点
F-20050011			北海道石炭鉱業の研究
F-20050012			消費組合論に就ての小論
F-20050013	尾形勝郎		利潤統制
F-20050014	増田忠人	1940/01	満洲に於る小麦粉の一調査
F-20050015			新聞広告需要者ノ諸問題
F-20050016			金解禁より金再禁止までの及びその後の労働賃金問題
F-20050017	古谷信勝		中小商工業金融に就て
F-20050018	大船八郎		人絹工業に就て
F-20050019	相吉重雄		我が国貿易政策の将来
F-20050020	林 健一		日支事変以来の我国外国貿易の変遷
F-20050021	小倉健二	1941/08/20	東亜共栄圏の一. 蘭印
F-20050022	境 貞雄	1941/01/20	我が国石炭界の推移と現時石炭統制を論ず
F-20050023	野村正巳	1941/01/31	英国中世のギルド制度
F-20050024	松田正男		行為と道徳の根本動機
F-20050025	村田 博		経済学の論理的性格
F-20050026	川田敏夫	1941/01	戦時下中小工業の金融問題
F-20050027	田中 孝		戦争と通商
F-20050028	知久 弘	1941/07/30	ラテン・アメリカの最近経済動向
F-20050029		1938/02/10	中小工業の将来
F-20050030	松村幹雄		東亜共栄圏の経済的基礎
F-20050031	尾崎亨一郎	1939	液体燃料の一考察
F-20050032	岡部武雄		統計上より観たる映画の小考察
F-20050033	大船八百蔵		朝里村紙谷氏ノ木炭製造業調査
F-20050034	和田益太郎	1938/02/11	蚕絲業の概観と統制
F-20050035	横本英雄		石油の生命力
F-20050036	山本祐一	1938/02/24	産業能率の研究とその意義
F-20050037	松ヶ野壽夫	1938/02/25	企業合同及び結合の史的発展
F-20050038	前田弘一	1938/02/10	統制経済への段階
F-20050039	永田孝一	1938/02/10	我が金融界に於ける銀行資金の地位
F-20050040	中川春雄	1938/02/26	鉄鋼価格統制論
F-20050041	為永 義	1938/02/23	小麦と小麦粉

1932年から1963年に提出された生徒学生提出論文（平井孝典）

	執筆者	提出または「擱筆」	論 文 名
F-20050042	宗像雄二	1938/02/25	小売商店の販売法
F-20050043	坂田 寛	1939	パルプに関する商業的研究
F-20050044	北村正一	1938/01/30	農村工業化に対する一考察
F-20050045	岩浅可哉	1938	百貨店の発展と小売商の対策
F-20050046	大田末穂	1936/02/08	貨幣数量説の研究
F-20050047	工藤康利	1937	世界恐慌以後に於ける我が対外貿易の情勢に就いて
F-20050048	近藤 彰		本邦陸運経営ニ関スル一考察
F-20050049	中木平三郎	1936/01/12	乗合自動車経営ノ一考察
F-20050050	中村 起		我が邦ニ於ケル倉庫業ノ職能
F-20050051	西岡謙三		明治大正貿易史
F-20050052	曳地金治		徳川時代に於ける米価調整策に就て
F-20050053	福島常弘		百貨店の経営
F-20050054	山口恒二郎		徳川時代之藩営専売制度
F-20050055	浅野 彦		北支那の経済的重要性
F-20050056	今井一雄		支那に於ける門戸開放主義
F-20050057	井上四郎		祖先祭祀の思想に基づける我国法律思想の推移
F-20050058	大井健一	1937/01/30	独占資本主義の史的分析
F-20050059	川又 勉		広告構成研究
F-20050060	片平道雄	1937/02/16	北海道米穀市場論
F-20050061	小杉豊次郎	1935/02/05	事務室研究
F-20050062	曾根重二郎	1937/02/11	企業立地論
F-20050063	善養寺和一	1937/02/13	我が国農家負債及整理の論及
F-20050064	阪田富男	1937/02/11	日本統制経済論
F-20050065	高橋義武	1937/02/05	中央卸売市場卸売人単複問題に付いて
F-20050066	龍田節吾		米国に於けるカルテル的不況対策
F-20050067	寺坂嘉兵衛		予算統制の研究
F-20050068	二瓶幸雄		新聞法制に於ける正誤義務の一考察
F-20050069	扨本武邦	1938/02/11	本邦畜牛観
F-20050070	米田 實	1937/02/11	産業統制論
F-20050071	渡部四郎		慣習法の法源性
F-20050072	鎌田義雄	1940/01/26	工業経営形態と現下の我国の工業に対する一考察
F-20050073	新井好二	1940/01/20	「物価統制策」一戦時の直接物価統制策を中心として
F-20050074	頭師皓介		通貨制度に就て
F-20050075	宮坂敏勝		我国に於けるパルプ工業特に人絹人織用パルプ工業の将来及其の対策
F-20050076	山田 博		所謂国際貿易理論の前提に関する一疑問
F-20050077	米川正哉		工業立地論と貿易政策との關聯性に就いての一考察
F-20050078	新津義彦	1940/01/30	配給組織竝に其の統制に関する研究
F-20050079	城所近之助		労働問題に対する一考察
F-20050080	櫻原 貢	1940/12/06	我が国商業職能の変化と商業の発展的再編成
F-20050081	大江安正	1942	南方開発について
F-20050082	志水健二		陶器業概略
F-20050083	小西 弘		郷土産業ニ関スル小論文
F-20050084	久川高明		大日本帝国ノ国体

	執筆者	提出または 「摺筆」	論 文 名
F-20050085	菅原修一 訳		外国為替手形
F-20050086	伊東祐一		夏期宿題
F-20050087	園部★★		印度に於ける“カスト”と家族制度
F-20050088	一諸留忍		戦争経済と金融
F-20050089	菅原群治		支那事変と支那経済に就いて
F-20050090	徳田 勇		支那の幣制
F-20050091	佐藤敬二		華僑の研究
F-20050092	小倉 勇		馬來の華僑史
F-20050093	高橋健次郎		阿片戦争を中心とする支那商業
F-20050094	山田孝三		民国革命史論—濟南事件まで—
F-20050095	大柿行雄		東亜交易圏の建設と商業者の南方進出
F-20050096	齋藤 廣		華僑対策
F-20050097	今 栄蔵		印度問題
F-20050098	江尻力郎		支那鉄道利権回収政策
F-20050099	三浦英助		支那戦国より秦末に到る商業発達の歴史的據点
F-20050100	由本俊雄		現代支那思想と日本
F-20050101	齋藤政太郎		停滞的支那農村村落制に就いて
F-20050102	近藤壽男		支那の対日法幣工作に付て
F-20050103	中川正室		南方開発金庫に関する一考察
F-20050104	小林一富		東亜共栄圏建設の基礎的条件
F-20050105	小林久男		日本の労働観
F-20050106	塚本 晃		国家経済の発展段階
F-20050107	栗城 毅	1942/11/29	比律賓に於ける華僑の経済的勢力について
F-20050108	甲斐見晴		大陸政策の理想
F-20050109	林与四郎		広域経済に対する一考察
F-20050110	竹端邦男		濠洲の歴史と今次大戦前の現況
F-20050111	荒冷一郎		アイヌの生活
F-20050112	鈴木義雄		印度経済の分析
F-20050113	星野康治		経済史(室谷教授担当) 華僑
F-20050114	大津博士		室谷先生宿題論文
F-20050115	富成元彦		大東亜戦争と華僑対策
F-20050116	小野省介		満鉄と
F-20050117	黒羽英一		最近の上海とユダヤ人
F-20050118	安達 正		支那の農業生産
F-20050119	河合 宏		我が国民の南洋発展史
F-20050120	木村茂雄		支那の水利問題に就て
F-20050121	佐々木一彦		支那に於ける専制権力の主観的基礎に関する考察
F-20050122	萬徳 進		支那に於ける資本の畸形的循環に就いて
F-20050123	前田嶋次良		中支の産業立地問題
F-20050124	猪俣二郎		戦時宣伝論
F-20050125	岡本良一		
F-20050126	★★直樹		純粹経済学に対する一考察
F-20050127	宇山幸榮		支那現代経済思想

1932年から1963年に提出された生徒学生提出論文（平井孝典）

	執筆者	提出または「擱筆」	論 文 名	
F-20050128	小田 茂	1943/11/27	共栄圏ニ於ケル纖維工業立地ニ関スル一問題	
F-20050129	大久保勇		民族国家としての新中国建設に関する一考察	
F-20050130	田村正司		日比関係	
F-20050131	岩間 毅		重農学派とフランソワ・ケネー	
F-20050132	加藤年美		日滿支産業立地政策ヲ論ズ	
F-20050133	栃木行雄		現代心理学 Gestalt の原理に対する一考察	
F-20050134	斉藤義雄		大陸の工業化について	
F-20050135	古谷幸造		東亜経済史研究論文 マルサスの支那人口論	
F-20050136	大友敏弘		1943/12/10	大東亜国防経済的立地の構想
F-20050137	加納成盛			戦時下日本と農村
F-20050138	中原 徹		通貨制度に就て	
F-20050139	篠田正義		戦争と植民地	
F-20050140	田中義人		英国の戦時食料問題に関する考察	
F-20050141	里見義雄		農工生産力の両全について	
F-20050142	吉澤省二	1943/12/08	南方諸地域に於ける電源開発に対する若干の地政学的考察	
F-20050143	深井明雄		戦争経済の知性的一考察	
F-20050144	高野★★		支那現代の土地問題に関する一考察	
F-20050145	角田元正		代替費用に就いて	
F-20050146	飯田耕作		都市の意志と農村との対立断面	
F-20050147	古澤 哲		強制カルテル論	
F-20050148	半間五郎	1939/12/25	我国戦時体制下に於る企業拡張の方向	
F-20050149	五十嵐康男		東亜広域経済における為替理論	
F-20050150	小林松三郎		栃木県産業史 昭和十五年夏休課題	
F-20050151	島嶺茂樹		本邦綿業当面の諸問題	
F-20050152	石渡正四	1936/02/05	新聞企業の研究	
F-20050153	菅原三郎		百貨店についての一考察	
F-20050154	角森友彌		我が国原料資源問題研究	
F-20050155	戸谷達三	1938/02/11	商店街一見	
F-20050156	野口英治	1943/11/30	特殊経済学としての日本経済学への一考察	
F-20050157	神田文逸		大東亜共栄圏建設と国内の経済統制に就いて	
F-20050158	田中新之助		新聞広告に就て	
F-20050159	岡本三雄		歴史主義の克服 ゲーテの道とランケの言葉	
F-20050160	二又秀雄		利益配当の方法と税務問題	
F-20050161	大井七郎		最近に於ける本邦銀行集中化に付て	
F-20050162	平田成介		我国蠶絲業ノ概観ト其ノ恐慌対策ニ就テ	
F-20050163	金澤廣志	1949/01/23	労働者の経営参加について	
F-20050164	鈴★★男			
F-20050165				
F-20050166			「第五章 ヴェーバー理論の修正」	
F-20050167	本居 繁		消費組合論に就て	
F-20050168	松田栄一		北海道石炭鉱業の研究	
F-20050169	相裕義男	1941/08/24		
F-20050170			第七章 国外交換：国際支払の機構と支払均衡	

	執筆者	提出または「欄筆」	論文名
F-20050171			「昭和三十二年度学生懸賞論文原稿」
F-20050172			第二組合論梗概
F-20050173			
F-20050174			戦争と通商
F-20050175			
F-20050176	吉田和悦		アルフレット＝ウェーバーの立地論を中心とした立地論研究
F-20050177	浜野喜雄		学生懸賞論文論題「会計における価値と原価」要旨
F-20050178	山田省司		第二組合論
F-20050179	浜野喜雄		会計における価値と原価
F-20050180	西村捷敏		懸賞論文「第二組合論」
F-20050181	及川 博		経済発展と貿易
F-20050182	赤松義夫		貿易の自由化と日本経済
F-20050183	藤井 徹		ケインズ一般理論と発展理論
F-20050184	原 貞二		わが国商法における会計規定の改正問題について
F-20050185	土津川和明		「第二組合論」論旨要綱
F-20050186	金山隆一	1957/09/30	北海道経済開発の基本問題—北海道総合開発第一次五カ年計画を中心に—
F-20050187	奥泉裕史		消費革新とマーケティング
F-20050188	奥泉裕史		消費革新とマーケティング—論旨—
F-20050189	土津川和明		第二組合論
F-20050190	山崎 尚		経済変動に於ける金融要因
F-20050191	日景宏和		株式会社に於ける多数決の原理
F-20050192	和田良明		貿易自由化と日本経済
F-20050193	和田良明		要約「貿易自由化と日本経済」
F-20050194	金森龍男		中国金融資本の発展過程に於ける銭荘資本の役割について
F-20050195	横渡 博		銀行に於ける資金造出の限界について
F-20050196	岩崎昭男		古典学派分配理論への考察
F-20050197	代々木明		アメリカ経済研究
F-20050198	浄土富俊		唯物論の史的発展 (デモクリトスよりホルバツハまで)
F-20050199	笹森信夫		ドイツインフレーションの進展とレンテンマルクの奇蹟
F-20050200	松村敏雄		我国海運の動向
F-20050201	大門昭一		銀行信用創造の限界
F-20050202	石崎秀策		外国為替の原理
F-20050203	鈴木恒男		国際経済への一検討
F-20050204	石黒則男	1949/01	計画経済の蓋然性の理論的考察—試行錯誤法及価値法則を環って—
F-20050205	鈴木利一	1949/01/29	マルクス主義における農業問題
F-20050206	喜田利弘		キリスト教文化よりみた経済倫理の経済理論への影響について
F-20050207	安川三四吉		リカアドウの価値論
F-20050208	富田礼二		国際貿易の構造的不均衡
F-20050209	古室俊行		均衡理論—主に方法論的見地からの—
F-20050210	富樫 實		セイ「販路の法則」に関する一考察
F-20050211	笠間英雄		貨幣的景気理論
F-20050212	横野 実		景気変動論
F-20050213	田中 博		労賃論

	執筆者	提出または「擱筆」	論 文 名
F-20050214	瀬戸 勲		英国自由主義経済学と社会政策について
F-20050215	畠山重行		ピグー「失業の理論」研究
F-20050216	林 昭男		ピグーに於ける国民所得と経済的厚生との関係性
F-20050217	和田親衛		国際貿易の構造的不均衡について
F-20050218	小川正幸		「エンゲル」の法則よりみたる戦後における生計費調査
F-20050219	田中昭二		リカルド対マルサス価値論争
F-20050220	今井淳一		均衡理論の動態的一考察
F-20050221	村田 稔		ケインズ「一般理論」
F-20050222	伊藤小四郎		カーンの雇傭乗数の理論
F-20050223	小川三也		労働価値説の発展について
F-20050224	堀口 茂		市場の形成に就いて
F-20050225	三浦 収		『研究論文』有効需要の原理の考察
F-20050226	玉井敏郎		資本主義経済計画の方法と限界
F-20050227	金川栄吉		経済循環と資本蓄積
F-20050228	中野 力		近代経営と市場調査
F-20050229	岩崎陽三		1960/09/28 技術革新に伴う管理組織の合理化とその問題点
F-20050230	加藤 宏		財政収支の経済的効果—日本経済の循環と成長における財政収支の政策的課題
F-20050231	津久井秀男		我が国際収支の構造的不均衡について—経済自立達成の障害—
F-20050232	中里 豊		経営組織に於ける人間関係
F-20050233	高本八州		経済循環と資本蓄積—「一般理論」の動学化をめぐる—
F-20050234	本庄淳三		経営組織に於ける人間関係
F-20050235	新見光隆		ポウレイ著「経済の数学的基礎」より「固定人口に於ける需要・供給の一般方程式」「独占結合に於ける諸問題」(翻訳)
F-20050236	大久保文夫		企業の合理化と労使関係—会計学よりする—一考察
F-20050237	鳥栖七郎		企業合理化と労使関係
F-20050238	大久保文夫		1954/01/28 減価償却と資本蓄積
F-20050239	香西敏男		減価償却と資本蓄積
F-20050240	千葉利喜彌		減価償却と資本蓄積
F-20050241	大島昭八	商業数学レポート ピグーの厚生経済学の批判と展開—ピグーの厚生経済学の三命題—	
F-20050242	内田和彦	商業数学レポート	
F-20050243	明石健司	商業数学レポート ケインズに於ける乗数理論	
F-20050244	八木俊昭	商業数学レポート 景気循環論—ヒックスの所説を巡りて—	
F-20050245	坂本郁雄	「商業数学レポート」ケインズの一般理論における失業問題	
F-20050246	葛西貢一	『商業数学レポート』『ピグーの供給価格不変の優越説』	
F-20050247	熊谷 功	商業数学レポート—資本の性質諸考察—ケインズ雇傭・利子&貨幣の一般理論に於ける—	
F-20050248	忠 光延	北海道経済の特殊性に関する研究	
F-20050249	真柄 弘	ケインズ「一般理論」における古典派雇傭理論の批判	
F-20050250	坂口良宣	スミスに於ける資本の問題について	
F-20050251	武山 弘	経済発展の計画理論—ハロッド及びドマル理論の方法論的究明—	
F-20050252	三熊国司	動態論に対する批判及、実践会計の立場からする貸借対照表に対する再検討	
F-20050253	尾倉 剛	動態論に対する批判、及び実践会計の立場から貸借対照表に対する再検討	
F-20050254	玉井敏郎	技術革新とわが国の労働者階級	
F-20050255	泉山整一	動態論に対する批判及び実践会計の立場からの貸借対照表に対する再検討—資産概念を中心として—	
F-20050256	山宮不二人	1954/01 「インカム・アプローチ」(Income Approach) について—その発展と現代的課題についての覚え書—	

	執筆者	提出または「摺筆」	論文名
F-20050257	穂鷹良介	1958/09/29	現代における Fiscal Policy の効果と限界
F-20050258	福島祐一		動態論批判と実践会計からする貸借対照表の再検討
F-20050259	野島和夫		技術革新とわが国の労働者階級
F-20050260	渡辺俊幸		経済変動における金融要因—景気理論における金融要因の位置づけをめぐる—
F-20050261	宮 充		経済変動に於ける金融要因について
F-20050262	佐野 勉		株式会社に於ける多数決原理
F-20050263	穂鷹良介		技術革新と経営管理
F-20050264	加賀谷隆男		北海道経済の特殊性について
F-20050265	穂鷹良介		経済循環と資本主義
F-20050266	大坪 皓		技術革新と経営管理 生産性向上を中心として
F-20050267	山田志津夫		証券価格と金利
F-20050268	角田正二		会計の学的性格
F-20050269	関戸武康	1955/09/08	我国に於ける社会保障制度の諸問題
F-20050270	山田志津夫		内外におけるマネタリー・ポリシー
F-20050271	永淵 修	1953/01/18	経営と労働
F-20050272	勝山 守		経営と労働
F-20050273	穂鷹秀弑		経営と労働
F-20050274	泉 一夫		会計上に於ける利益—利子の研究を中心として—
F-20050275	渡辺保夫	1956/09/10	会計上に於ける利益
F-20050276	河野祐二		独占と企業利潤—独占利潤の論理—
F-20050277	高橋和彦		株式会社に於る多数決原理
F-20050278	山崎潤三		資本蓄積と雇用問題
F-20050279	橋本昌典		資本蓄積と雇傭問題
F-20050280	高橋哲爾		資本蓄積と雇用問題
F-20050281	横田從治	1956/09/08	会計上における利益について
F-20050282	佐藤貞臣		資本蓄積と雇用問題
F-20050283	高橋哲爾		北海道農業経済の研究—現在の活動分析
F-20050284	長野 茂	1956/09/05	株式会社法上の多数決の原理
F-20050285	大谷芳弘		資本蓄積と雇用問題
F-20050286	増谷襄二		証券価格と金利
F-20050287	齊藤 亨		資本蓄積と雇用問題
F-20050288	石田安雄	1955/09/09	貨幣価値変動と企業会計—主として実体資本維持会計より修正原価会計への道程—
F-20050289	大和田殖夫		『内外におけるマネタリー・ポリシーについて。』—支払い準備率操作の原理と効果—
F-20050290	棚川末吉		「経済循環と資本蓄積」—ハロッド及びドアールの理論を中心として—
F-20050291	中井直安		我国貿易の問題点—貿易構造と市場の問題—
F-20050292	徳永幹治		株式会社に於ける多数決原理
F-20050293	畑中 繁		資本蓄積と雇用問題
F-20050294	宮下久雄		我が国貿易の問題点
F-20050295	新庄 隆	1956/09/10	企業会計上の利益について
F-20050296	石田安雄	1956/09/10	会計上に於ける利益
F-20050297	菊地 勤		経済循環と資本蓄積
F-20050298	保科銀二		「会計上に於ける利益」—利益概念を中心として—
F-20050299	橋本泰文		わが国貿易の問題点

1932年から1963年に提出された生徒学生提出論文（平井孝典）

	執筆者	提出または「擱筆」	論 文 名
F-20050300	本間毅郎		戦後に於ける我国金融制度の特質について
F-20050301	大和田殖夫		戦後に於ける我国金融制度の特質について
F-20050302	佐々木晃		日本資本主義発達史上に於る北海道の地位
F-20050303	畑中 繁		経済循環と資本蓄積
F-20050304	寺本紹宗		資本蓄積と雇用問題
F-20050305	笹 義通	1956/09/05	証券価格と金利
F-20050306	佐々木晃		北海道経済に関する研究—北海道農業を中心とする—
F-20050307	浅田二生		我国貿易の問題点
F-20050308	小塚邦夫		資本蓄積と雇傭問題—ケインズ体系における二つの投資概念—
F-20050309	高橋靖彦		問題 戦後に於ける我国金融制度の特質について
F-20050310	橋本泰文		わが国社会保障制度の諸問題
F-20050311	★★善次		古瀬先生
F-20050312	吉田★★	1939/02/24	
F-20050313	黒田四郎		貸借対照表及損益計算表ヨリ見タル信用判定
F-20050314	樋口直之		硫安
F-20050315	木村俊也	1939/02/26	世界人造絹糸の創成と我国最近の趨勢
F-20050316	大沼誠治		貿易上に於ける我が国綿業の重要性と北方原棉対策
F-20050317	工藤恭治		繭の取引形態について
F-20050318	斉藤克己		産業組合の総括的考察に付いて
F-20050319	長谷川光夫	1939/02/25	産業組合ト反産運動
F-20050320	中山正一	1937/02/16	統制経済の近代的本質と日本統制経済の一考察
F-20050321	大島泰次郎		従業員株主制度
F-20050322	大滝省一		失業保険論
F-20050323			通行販売の原理
F-20050324	加藤★★		協同組合運動ノ原理
F-20050325	後津栄一郎		独立小売商の疲弊と其の対策
F-20050326	佐久間猛		英国金本位停止論
F-20050327	齊藤 正		
F-20050328	菅井長平		取引所、価値批判
F-20050329	渡辺芳夫		中小商問題補遺 販売仕入に関する一考察
F-20050330	鈴木信三		中小商工業問題
F-20050331	寺田茂巳		連鎖店に関する研究論文
F-20050332	村田毅策		現今に於ける百貨店問題の研究
F-20050333	村中 實		産業集中の原因並に経済界に於ける其の地位
F-20050334	望月鷹雄		百貨店
F-20050335	諸橋昌保		広告の経済的考察
F-20050336	諸 昌栄		百貨店に対する小売店の将来
F-20050337	柳沢孝次		百貨店における割賦販売
F-20050338	和知英昌		福島県産業組合概観（購買組合）
F-20050339	新井 寛	1933/02/02	広告の経済的効果考察
F-20050340	打田 正	1933/02/23	真狩別村信用購買販売 利用組合ニ関スル調査研究
F-20050341	大澤一雄		消費組合の将来
F-20050342	兒玉廉平	1933/02/24	株式と株式会社との関係について

	執筆者	提出または「欄筆」	論文名
F-20050343	小見山嶺夫		小売商ニ就テ
F-20050344	竹山 博	1933/01/22	亜米利加に於ける割賦販売制度に就て
F-20050345	田代耕二		賃金問題ニ関シテノ一考察
F-20050346	藤田枝郎		小売業者ノ百貨店対策ト「連鎖店」
F-20050347	藤本得太郎		市場調査ノ方法ニ就テ
F-20050348	山本正樹	1933/02/26	北海道水産物主として根室昆布の満蒙市場関係に附いて附、北千島事情紹介断片
F-20050349	愛宕忠夫	1936/02/17	産業組合論
F-20050350	工藤久吉		農村救済としての米専売
F-20050361	木下芳雄		工場経営ニ於ケル賃金制度
F-20050362	佐々木誠	1934/01/31	工業金融と工業金融機関に就て一主として中小工業金融機関に就て一
F-20050363	佐々木勝		百貨店対小売商問題の一私見
F-20050364	薮守★★	1934/02/12	Hayward and White の Chain Store に関する一考察
F-20050365	生駒政雄		株式会社発達の史的考察
F-20050366	柳谷富治郎		産業の合理化と労働者階級
F-20050367	石田英夫		国際法ノ基本觀念ニ就テ
F-20050368	大関謹一		無限責任琴似信用購買販売利用組合に就て
F-20050369	今津順治		労働法
F-20050370	石積光平	1934/12/19	反産運動と産業組合
F-20050371	内田岩市		ソシアル・ダムピング論
F-20050372	金子勝三郎		カルテルに関する一研究
F-20050373	川岸巳代治		法人論
F-20050374	川口久治	1935/01/30	景気政策としてのインフレーション
F-20050375	小林一夫		産業組合に依る肥料配給統制
F-20050376	小森三郎		親族法概論
F-20050377	齋藤誠夫		我が国機械工業に就て
F-20050378	杉原一男		中間商人の排除傾向
F-20050379			第三者の爲めにする契約に就て
F-20050380	佐藤 武		権利の本質に対する研究
F-20050381	瀬下一四郎		家族制度の研究
F-20050382	田中俊明		売渡担保制度に就て
F-20050383	野村信一		公法学上ニ於ケル行政概念ト公法学ト政治トノ分離ニ就テ
F-20050384	服部公雄	1935/01	樺太水産金融
F-20050385	三浦丈夫		議会制度の本質と其将来
F-20050386	村上 肇		用益物権ニ就テ
F-20050387	宗像雄一	1935/02	北海道ニ於ケル乳製品研究
F-20050388	山形達尾	1935/01/25	北海道産業組合論

資料2 <学年別に整理>

<生徒学生提出論文>（1932年～1963年）

★は物理的な破損等のため不明

1932年卒業（16人）

	執筆者	提出または 「摺筆」	論 文 名
F-20050161	大井七郎		最近に於ける本邦銀行集中化に付て
F-20050318	斉藤克己		産業組合の総括的考察に付いて
F-20050321	大島泰次郎		従業員株主制度
F-20050322	大滝省一		失業保険論
F-20050325	後津栄一郎		独立小売商の疲弊と其の対策
F-20050326	佐久間猛		英国金本位停止論
F-20050327	齊藤 正		
F-20050329	渡辺芳夫		中小商問題補遺 販売仕入に関する一考察
F-20050330	鈴木信三		中小商工農業問題
F-20050331	寺田茂巳		連鎖店に関する研究論文
F-20050332	村田毅策		現今に於ける百貨店問題の研究
F-20050333	村中 實		産業集中の原因並に経済界に於ける其の地位
F-20050334	望月鷹雄		百貨店
F-20050335	諸橋昌保		広告の経済的考察
F-20050336	諸 昌栄		百貨店に対する小売店の将来
F-20050337	柳沢幸次		百貨店における割賦販売

1933年卒業（12人）

	執筆者	提出または 「摺筆」	論 文 名
F-20050328	菅井長平		取引所、価値批判
F-20050339	新井 寛	1933/02/02	広告の経済的効果考察
F-20050340	打田 正	1933/02/23	真狩別村信用購買販売 利用組合ニ関スル調査研究
F-20050341	大澤一雄		消費組合の将来
F-20050342	兒玉廉平	1933/02/24	株式と株式会社との関係について
F-20050343	小見山嶺夫		小売商ニ就テ
F-20050344	竹山 博	1933/01/22	亜米利加に於ける割賦販売制度に就て
F-20050345	田代耕二		賃金問題ニ関シテノ一考察
F-20050346	藤田枝郎		小売業者ノ百貨店対策ト「連鎖店」
F-20050347	藤本得太郎		市場調査ノ方法ニ就テ
F-20050348	山本正樹	1933/02/26	北海道水産物主として根室昆布の満蒙市場関係に附いて附、北千島事情紹介断片
F-20050369	今津順治		労働法

1934年卒業（8人）

	執筆者	提出または 「摺筆」	論 文 名
F-20050338	和知英昌		福島県産業組合概観（購買組合）
F-20050349	愛宕忠夫	1936/02/17	産業組合論
F-20050350	工藤久吉		農村救済としての米専売
F-20050361	木下芳雄		工場経営ニ於ケル賃金制度
F-20050362	佐々木誠	1934/01/31	工業金融と工業金融機関に就て一主として中小工業金融機関に就て一
F-20050363	佐々木勝		百貨店対小売商問題の一私見
F-20050364	藪守★★	1934/02/12	Hayward and White の Chain Store に関する一考察
F-20050366	柳谷富治郎		産業の合理化と労働者階級

1935年卒業 (23人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050007	高橋常次	1935/01/25	産業合理化ト科学的管理法
F-20050061	小杉豊次郎	1935/02/05	事務室研究
F-20050162	平田成介		我国蠶絲業ノ概観ト其ノ恐慌対策ニ就テ
F-20050365	生駒政雄		株式会社発達の史的考察
F-20050367	石田英夫		国際法ノ基本觀念ニ就テ
F-20050368	大関謹一		無限責任琴似信用購買販売利用組合に就て
F-20050370	石積光平	1934/12/19	反産運動と産業組合
F-20050371	内田岩市		ソシアル・ダムピング論
F-20050372	金子勝三郎		カルテルに関する一研究
F-20050373	川岸巳代治		法人論
F-20050374	川口久治	1935/01/30	景気政策としてのインフレーション
F-20050376	小森三郎		親族法概論
F-20050377	齋藤誠夫		我が国機械工業に就て
F-20050378	杉原一男		中間商人の排除傾向
F-20050380	佐藤 武		権利の本質に対する研究
F-20050381	瀬下一四郎		家族制度の研究
F-20050382	田中俊明		売渡担保制度に就て
F-20050383	野村信一		公法学上ニ於ケル行政概念ト公法学ト政治トノ分離ニ就テ
F-20050384	服部公雄	1935/01	樺太水産金融
F-20050385	三浦丈夫		議会制度の本質と其将来
F-20050386	村上 肇		用益物権ニ就テ
F-20050387	宗像雄一	1935/02	北海道ニ於ケル乳製品研究
F-20050388	山形達尾	1935/01/25	北海道産業組合論

1936年卒業 (12人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050045	岩浅可哉	1938	百貨店の発展と小売商の対策
F-20050046	大田末穂	1936/02/08	貨幣数量説の研究
F-20050047	工藤康利	1937	世界恐慌以後に於ける我が対外貿易の情勢に就いて
F-20050049	中木平三郎	1936/01/12	乗合自動車経営ノ一考察
F-20050050	中村 起		我が邦ニ於ケル倉庫業ノ職能
F-20050051	西岡謙三		明治大正貿易史
F-20050052	曳地金治		徳川時代に於ける米価調整策に就て
F-20050053	福島常弘		百貨店の経営
F-20050054	山口恒四郎		徳川時代之藩営専売制度
F-20050146	飯田耕作		都市の意志と農村との対立断面
F-20050151	島崙茂樹		本邦綿業当面の諸問題
F-20050152	石渡正四	1936/02/05	新聞企業の研究

1932年から1963年に提出された生徒学生提出論文（平井孝典）

1937年卒業（17人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050055	浅野輝彦		北支那の経済的重要性
F-20050056	今井一雄		支那に於ける門戸開放主義
F-20050057	井上四郎		祖先祭祀の思想に基づける我国法律思想の推移
F-20050058	大井健一	1937/01/30	独占資本主義の史的分析
F-20050059	川村 勉		広告構成研究
F-20050060	片平道雄	1937/02/16	北海道米穀市場論
F-20050062	曾根重四郎	1937/02/11	企業立地論
F-20050063	善養寺和一	1937/02/13	我が国農家負債及整理の論及
F-20050064	阪田富男	1937/02/11	日本統制経済論
F-20050065	高橋義武	1937/02/05	中央卸売市場卸売人単複問題に付いて
F-20050066	龍田節吾		米国に於けるカルテル的不況対策
F-20050067	寺坂嘉兵衛		予算統制の研究
F-20050068	二瓶幸雄		新聞法制に於ける正誤義務の一考察
F-20050070	米田 實	1937/02/11	産業統制論
F-20050071	渡部四郎		慣習法の法源性
F-20050160	二又秀雄		利益配当の方法と税務問題
F-20050320	中山正一	1937/02/16	統制経済の近代的本質と日本統制経済の一考察

1938年卒業（16人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050029	新井清保	1938/02/10	中小工業の将来
F-20050032	岡部武雄		統計上より観たる映画の小考察
F-20050033	大船八百蔵		朝里村紙谷氏ノ木炭製造業調査
F-20050034	和田益太郎	1938/02/11	蚕絲業の概観と統制
F-20050035	横本英雄		石油の生命力
F-20050036	山本祐一	1938/02/24	産業能率の研究とその意義
F-20050037	松ヶ野壽夫	1938/02/25	企業合同及び結合の史的発展
F-20050038	前田弘一	1938/02/10	統制経済への段階
F-20050039	永田孝一	1938/02/10	我が金融界に於ける銀行資金の地位
F-20050040	中川春雄	1938/02/26	鉄鋼価格統制論
F-20050041	為永 義	1938/02/23	小麦と小麦粉
F-20050042	宗像雄二	1938/02/25	小売商店の販売法
F-20050044	北村正一	1938/01/30	農村工業化に対する一考察
F-20050069	杉本武邦	1938/02/11	本邦畜牛観
F-20050155	戸谷達三	1938/02/11	商店街一見
F-20050158	田中新之助		新聞広告に就て

1939年卒業（10人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050031	尾崎亨一郎	1939	液体燃料の一考察
F-20050043	坂田 寛	1939	パルプに関する商業的研究
F-20050168	松田栄一		北海道石炭鉱業の研究

F-20050176	吉田和悦		アルフレット＝ウェーバーの立地論を中心とした立地論研究
F-20050313	黒田四郎		貸借対照表及損益計算表ヨリ見タル信用判定
F-20050314	樋口直之		硫安
F-20050315	木村俊也	1939/02/26	世界人造絹糸の創成と我国最近の趨勢
F-20050316	大沼誠治		貿易上に於ける我が国綿業の重要性と北方原棉対策
F-20050317	工藤恭治		繭の取引形態について
F-20050319	長谷川光夫	1939/02/25	産業組合ト反産運動

1940年卒業(9人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050017	古谷信勝		中小商工業金融に就て
F-20050072	鎌田義雄	1940/01/26	工業経営形態と現下の我国の工業に対する一考察
F-20050073	新井好二	1940/01/20	「物価統制策」一戦時の直接物価統制策を中心として
F-20050074	頭師皓介		通貨制度に就て
F-20050075	宮坂敏勝		我国に於けるパルプ工業特に人絹人織用パルプ工業の将来及其の対策
F-20050076	山田 博		所謂国際貿易理論の前提に関する一疑問
F-20050077	米川正哉		工業立地論と貿易政策との關聯性に就いての一考察
F-20050078	新津義彦	1940/01/30	配給組織竝に其の統制に関する研究
F-20050079	城所近之助		労働問題に対する一考察

1941年卒業(8人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050018	大船八郎		人絹工業に就て
F-20050023	野村正巳	1941/01/31	英国中世のギルド制度
F-20050024	松田正男		行為と道德の根本動機
F-20050025	村田 博		経済学の論理的性格
F-20050026	川田敏夫	1941/01	戦時下中小工業の金融問題
F-20050080	櫻原 貢	1940/12/06	我が国商業職能の変化と商業の發展的再編成
F-20050147	古澤 哲		強制カルテル論
F-20050148	半間五郎	1939/12/25	我国戦時体制下に於る企業拡張の方向

1941年後期卒業(9人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050019	相吉重雄		我が国貿易政策の将来
F-20050020	林 健一		日支事変以来の我国外国貿易の変遷
F-20050021	小倉健二	1941/08/20	東亜共栄圏の一. 蘭印
F-20050022	境 貞雄	1941/01/20	我が国石炭界の推移と現時石炭統制を論ず
F-20050027	田中 孝		戦争と通商
F-20050028	知久 弘	1941/07/30	ラテン・アメリカの最近経済動向
F-20050030	松村幹雄		東亜共栄圏の経済的基礎
F-20050169	相松義男	1941/08/24	
F-20050375	小林一夫		産業組合に依る肥料配給統制

1932年から1963年に提出された生徒学生提出論文（平井孝典）

1942年卒業（5人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050002	宮脇保雄		美濃の陶業
F-20050083	小西 弘		郷土産業ニ関スル小論文
F-20050084	久川高明		大日本帝国ノ国体
F-20050085	菅原修一 訳		外国為替手形
F-20050086	伊東祐一		夏期宿題

1943年卒業（40人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050003	坪沼英雄		支那学生運動に就いて
F-20050004	菅原富次		大東亜共栄圏への道
F-20050082	志水健二		陶器業概略
F-20050087	園部清之助		印度に於ける「カスト」と家族制度
F-20050088	諸留 忍		戦争経済と金融
F-20050089	菅原群治		支那事変と支那経済に就いて
F-20050090	徳田 勇		支那の幣制
F-20050091	佐藤敬二		華僑の研究
F-20050092	小倉 勇		馬來の華僑史
F-20050093	高橋健次郎		阿片戦争を中心とする支那商業
F-20050094	山田孝三		民国革命史論—済南事件まで—
F-20050095	大柿行雄		東亜交易圏の建設と商業者の南方進出
F-20050096	齋藤 康		華僑対策
F-20050097	今 栄蔵		印度問題
F-20050098	江尻力郎		支那鉄道利権回収政策
F-20050099	三浦英助		支那戦国より秦末に到る商業発達の歴史的據点
F-20050100	由本俊雄		現代支那思想と日本
F-20050101	齋藤欧太郎		停滞的支那農村村落制に就いて
F-20050102	近藤壽男		支那の対日法幣工作に付て
F-20050103	中川正室		南方開発金庫に関する一考察
F-20050104	小林一富		東亜共栄圏建設の基礎的条件
F-20050105	小林久男		日本的労働観
F-20050106	塚本 晃		国家経済の発展段階
F-20050107	栗城 毅	1942/11/29	比律賓に於ける華僑の経済的勢力について
F-20050108	甲斐見晴		大陸政策の理想
F-20050109	林与四郎		広域経済に対する一考察
F-20050110	竹端邦男		濠洲の歴史と今次大戦前の現況
F-20050111	荒冷一郎		アイヌの生活
F-20050112	鈴木義雄		印度経済の分析
F-20050113	星野康治		経済史（室谷教授担当）華僑
F-20050114	大津博士		室谷先生宿題論文
F-20050115	富成元彦		大東亜戦争と華僑対策
F-20050116	小野省介		満鉄と
F-20050117	黒羽英一		最近の上海とユダヤ人

F-20050118	安達 正	支那の農業生産
F-20050119	河合 宏	我が国民の南洋発展史
F-20050120	木村茂雄	支那の水利問題に就て
F-20050121	佐々木一彦	支那に於ける専制権力の主観的基礎に関する考察
F-20050122	萬徳 進	支那に於ける資本の畸形的循環に就いて
F-20050149	五十嵐康男	東亜広域経済における為替理論

1944年卒業 (25人)

	執筆者	提出または 「摺筆」	論 文 名
F-20050001	中山一郎	1942	国際経済学 為替論
F-20050005	喜多鉄夫		起ち上った蒙古民族
F-20050081	大江安正		南方開発について
F-20050123	前田嶋次郎		中支の産業立地問題
F-20050124	猪俣二郎		戦時宣伝論
F-20050125	岡本良一	1943/11/27	支那現代経済思想
F-20050127	宇山幸榮		共栄圏ニ於ケル繊維工業立地ニ関スル一問題
F-20050128	小田 茂		民族国家としての新中国建設に関する一考察
F-20050129	大久保勇		日比関係
F-20050130	田村正司		重農学派とフランソワ・ケネー
F-20050131	岩間 毅		日満支産業立地政策ヲ論ズ
F-20050132	加藤年美		現代心理学 Gestalt の原理に対する一考察
F-20050133	栃木行雄		大陸の工業化について
F-20050134	斉藤義雄		東亜経済史研究論文 マルサスの支那人口論
F-20050135	古谷幸造		大東亜国防経済的立地の構想
F-20050136	大友敏弘		戦時下日本と農村
F-20050137	加納成盛		通貨制度に就て
F-20050138	中原 徹		戦争と植民地
F-20050139	篠田正義	英国の戦時食料問題に関する考察	
F-20050140	田中義人	農工生産力の両全について	
F-20050141	里見義雄	1943/12/08	南方諸地域に於ける電源開発に対する若干の地政学的考察
F-20050142	吉澤省二		戦争経済の知性的一考察
F-20050143	深井明雄	1943/11/30	特殊経済学としての日本経済学への一考察
F-20050156	野口英治		大東亜共栄圏建設と国内の経済統制に就いて
F-20050157	神田文逸		

1949年卒業 (20人)

	執筆者	提出または 「摺筆」	論 文 名
F-20050008	丸山秀夫	1949/01/23	戦後我が国の経済状態
F-20050163	金澤廣志		労働者の経営参加について
F-20050194	金森龍男		中国金融資本の発展過程に於ける銭荘資本の役割について
F-20050195	横渡 博		銀行に於ける資金造出の限界について
F-20050196	岩崎昭男		古典学派分配理論ヘノ一考察
F-20050197	代々木明		アメリカ経済研究
F-20050198	浄土富俊		唯物論の史的発展 (デモクリトスよりホルバツハまで)
F-20050199	笹森信夫		ドイツインフレーションの進展とレンテンマルクの奇蹟

1932年から1963年に提出された生徒学生提出論文（平井孝典）

F-20050200	松村敏雄		我国海運の動向
F-20050201	大門昭一		銀行信用創造の限界
F-20050202	石崎秀策		外国為替の原理
F-20050203	鈴木恒男		国際経済への一検討
F-20050204	石黒則男	1949/01	計画経済の蓋然性の理論的考察＝試行錯誤法及価値法則を環って＝
F-20050205	鈴木利一	1949/01/29	マルクス主義における農業問題
F-20050206	喜田利弘		キリスト教文化よりみた経済倫理の経済理論への影響について
F-20050207	安川三四吉		リカードウの価値論
F-20050222	伊藤小四郎		カーンの雇傭乗数の理論
F-20050223	小川三也		労働価値説の発展について
F-20050224	堀口 茂		市場の形成に就いて
F-20050225	三浦 収		『研究論文』有効需要の原理の考察

1950年卒業（11人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050209	古室俊行		均衡理論—主に方法論的見地からの—
F-20050210	富樫 實		セイ「販路の法則」に関する一考察
F-20050211	笠間英雄		貨幣的景気理論
F-20050212	横野 実		景気変動論
F-20050213	田中 博		労賃論
F-20050214	瀬戸 勲		英国自由主義経済学と社会政策について
F-20050215	畠山重行		ピグー「失業の理論」研究
F-20050216	林 昭男		ピグーに於ける国民所得と経済的厚生の関係性
F-20050219	田中昭二		リカード対マルサス価値論争
F-20050220	今井淳一		均衡理論の動態的一考察
F-20050221	村田 稔		ケインズ「一般理論」

1954年卒業（6人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050249	真柄 弘		ケインズ「一般理論」における古典派雇傭理論の批判
F-20050250	坂口良宣		スミスに於ける資本の問題について
F-20050271	永淵 修	1953/01/18	経営と労働
F-20050272	勝山 守		経営と労働
F-20050273	穂鷹秀弼		経営と労働
F-20050276	河野祐二		独占と企業利潤—独占利潤の論理—

1955年卒業（16人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050208	富田礼二		国際貿易の構造的不均衡
F-20050235	新見光隆		ボウレイ著「経済の数学的基礎」より「固定人口に於ける需要・供給の一般方程式」「独占結合に於ける諸問題」（翻訳）
F-20050236	大久保文夫		企業の合理化と労使関係—会計学よりする一考察
F-20050237	鳥栖七郎		企業合理化と労使関係
F-20050238	大久保文夫		減価償却と資本蓄積
F-20050239	香西敏男	1954/01/28	減価償却と資本蓄積
F-20050240	千葉利喜彌		減価償却と資本蓄積

F-20050241	大島昭八		商業数学レポート ビグの厚生経済学の批判と展開—ビグの厚生経済学の三命題—
F-20050242	内田和彦		商業数学レポート
F-20050243	明石健司		商業数学レポート ケインズに於ける乗数理論
F-20050244	八木俊昭		商業数学レポート 景気循環論—ヒックスの所説を巡りて—
F-20050245	坂本郁雄		[商業数学レポート] ケインズの一般理論における失業問題
F-20050246	葛西貢一		『商業数学レポート』『ビグの供給価格不変の優越説』
F-20050248	忠 光延		北海道経済の特殊性に関する研究
F-20050256	山宮不二夫	1954/01	「インカム・アプローチ」(Income Approach) について—その発展と現代的課題についての覚え書—
F-20050264	加賀谷隆男		北海道経済の特殊性について

1956年卒業 (5人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050227	金川栄吉		経済循環と資本蓄積
F-20050231	津久井秀男		我が国際収支の構造的不均衡について—経済自立達成の障害—
F-20050232	中里 豊		経営組織に於ける人間関係
F-20050233	高本八州		経済循環と資本蓄積—「一般理論」の動学化をめぐる—
F-20050251	武山 弘		経済発展の計画理論—ハロッド及びドマル理論の方法論的究明—

1957年卒業 (22人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050288	石田安雄	1955/09/09	貨幣価値変動と企業会計—主として実体資本維持会計より修正原価会計への道程—
F-20050289	大和田殖夫		『内外におけるマネタリーポリシーについて。』—支払い準備率操作の原理と効果—
F-20050291	中井直安		我国貿易の問題点—貿易構造と市場の問題—
F-20050292	徳永幹治		株式会社に於ける多数決原理
F-20050293	畑中 繁		資本蓄積と雇用問題
F-20050294	宮下久雄		我が国貿易の問題点
F-20050295	新庄 隆	1956/09/10	企業会計上の利益について
F-20050296	石田安雄	1956/09/10	会計上に於ける利益
F-20050297	菊地 勤		経済循環と資本蓄積
F-20050298	保科銀二		「会計上に於ける利益」—利益概念を中心として—
F-20050299	橋本泰文		わが国貿易の問題点
F-20050300	本間毅郎		戦後に於ける我国金融制度の特質について
F-20050301	大和田殖夫		戦後に於ける我国金融制度の特質について
F-20050302	佐々木晃		日本資本主義発達史上に於る北海道の地位
F-20050303	畑中 繁		経済循環と資本蓄積
F-20050304	寺本紹宗		資本蓄積と雇用問題
F-20050305	笹 義通	1956/09/05	証券価格と金利
F-20050306	佐々木晃		北海道経済に関する研究—北海道農業を中心とする—
F-20050307	浅田二生		我国貿易の問題点
F-20050308	小塚邦夫		資本蓄積と雇傭問題—ケインズ体系における二つの投資概念—
F-20050309	高橋靖彦		問題 戦後に於ける我国金融制度の特質について
F-20050310	橋本泰文		わが国社会保障制度の諸問題

1932年から1963年に提出された生徒学生提出論文（平井孝典）

1958年卒業（20人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名		
F-20050186	金山隆一	1957/09/30	北海道経済開発の基本問題—北海道総合開発第一次五カ年計画を中心に— 株式会社に於ける多数決の原理		
F-20050191	日景宏和				
F-20050247	熊谷 功	1955/09/08	商業数学レポート—資本の性質諸考察—ケインズ雇傭・利子&貨幣の一般理論に於ける— 証券価格と金利 内外におけるマネタリー・ポリシー 会計の学的性格		
F-20050267	山田志津夫				
F-20050270	山田志津夫				
F-20050268	角田正二				
F-20050269	関戸武康				
F-20050274	泉 一夫				
F-20050275	渡辺保夫			1956/09/10	会計上に於ける利益 株式会社に於ける多数決原理
F-20050277	高橋和彦				
F-20050278	山崎潤三			1956/09/08	資本蓄積と雇用問題 資本蓄積と雇傭問題 資本蓄積と雇用問題 会計上における利益について 資本蓄積と雇用問題 北海道農業経済の研究—現在の活動分析
F-20050279	橋本昌典				
F-20050280	高橋哲爾				
F-20050281	横田從治				
F-20050282	佐藤貞臣				
F-20050283	高橋哲爾				
F-20050284	長野 茂	1956/09/05	株式会社法上の多数決の原理 資本蓄積と雇用問題 証券価格と金利 資本蓄積と雇用問題		
F-20050285	大谷芳弘				
F-20050286	増谷襄二				
F-20050287	齊藤 亨				

1959年卒業（9人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050006	関根幸雄	1958/09/29	戦後に於ける我国金融制度の特質について 動態論に対する批判及び実践会計の立場からの貸借対照表に対する再検討—資産概念を中心として— 現代における Fiscal Policy の効果と限界 技術革新と経営管理 経済循環と資本主義 動態論批判と実践会計からする貸借対照表の再検討 技術革新とわが国の労働者階級 経済変動における金融要因—景気理論における金融要因の位置づけをめぐって— 経済変動に於ける金融要因について 株式会社に於ける多数決原理 技術革新と経営管理 生産性向上を中心として
F-20050255	泉山整一		
F-20050257	穂鷹良介		
F-20050263	穂鷹良介		
F-20050265	穂鷹良介		
F-20050258	福島祐一		
F-20050259	野島和夫		
F-20050260	渡辺俊幸		
F-20050261	宮 充		
F-20050262	佐野 勉		
F-20050266	大坪 皓		

1960年卒業（3人）

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050226	玉井敏郎		資本主義経済計画の方法と限界 技術革新とわが国の労働者階級 動態論に対する批判及、実践会計の立場からする貸借対照表に対する再検討 動態論に対する批判、及び実践会計の立場から貸借対照表に対する再検討
F-20050254	玉井敏郎		
F-20050252	三熊国司		
F-20050253	尾倉 剛		

1961年卒業(3人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050181 F-20050229 F-20050230	及川 博 岩崎陽三 加藤 宏	1960/09/28	経済発展と貿易 技術革新に伴う管理組織の合理化とその問題点 財政収支の経済的効果—日本経済の循環と成長における財政収支の政策的課題

1962年卒業(6人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050177 F-20050179 F-20050180 F-20050185 F-20050189 F-20050178 F-20050187 F-20050188 F-20050192 F-20050193	浜野喜雄 浜野喜雄 西村捷敏 土津川和明 土津川和明 山田省司 奥泉裕史 奥泉裕史 和田良明 和田良明		学生懸賞論文論題「会計における価値と原価」要旨 会計における価値と原価 懸賞論文「第二組合論」 「第二組合論」論旨要綱 第二組合論 第二組合論 消費革新とマーケティング 消費革新とマーケティング—論旨— 貿易自由化と日本経済 要約「貿易自由化と日本経済」

1963年卒業(1人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050010	佐藤隆道		技術革新に伴う管理組織の合理化とその問題点

その他

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050311	教務課 ★★善次		古瀬先生

調査確認中(38人)

	執筆者	提出または 「擱筆」	論 文 名
F-20050009 F-20050011 F-20050012 F-20050013 F-20050014 F-20050015 F-20050016 F-20050048 F-20050126 F-20050144 F-20050145 F-20050150 F-20050153 F-20050154 F-20050159	J. Ishimura 尾形勝郎 増田忠人 近藤 彰 ★★直樹 高野★★ 角元元正 小林松三郎 菅原三郎 角森友彌 岡本三雄	1940/01	技術革新に伴う管理組織の合理化とその問題点 北海道石炭鉱業の研究 消費組合論に就ての小論 利潤統制 満洲に於る小麦粉の一調査 新聞広告需要者ノ諸問題 金解禁より金再禁止までの及びその後の労働賃金問題 本邦陸運経営ニ関スルー考察 純粹経済学に対する一考察 支那現代の土地問題に関する一考察 代替費用に就いて 栃木県産業史 昭和十五年夏休課題 百貨店についての一考察 我が国原料資源問題研究 歴史主義の克服 ゲーテの道とランケの言葉

1932年から1963年に提出された生徒学生提出論文（平井孝典）

F-20050164	鈴★★男		
F-20050165			
F-20050166			「第五章 ヴェーバー理論の修正」
F-20050167	本居 繁		消費組合論に就て
F-20050170			第七章 国外交換：国際支払の機構と支払均衡
F-20050171			「昭和三十二年度学生懸賞論文原稿」
F-20050172			第二組合論梗概
F-20050173			
F-20050174			戦争と通商
F-20050175			
F-20050182	赤松義夫		貿易の自由化と日本経済
F-20050183	藤井 徹		ケインズ一般理論と発展理論
F-20050184	原 貞二		わが国商法における会計規定の改正問題について
F-20050190	山崎 尚		経済変動に於ける金融要因
F-20050217	和田親衛		国際貿易の構造的不均衡について
F-20050218	小川正幸		「エンゲル」の法則よりみたる戦後における生計費調査
F-20050228	中野 力		近代経営と市場調査
F-20050234	本庄淳三		経営組織に於ける人間関係
F-20050290	棚川末吉		「経済循環と資本蓄積」—ハロッド及びドアールの理論を中心として—
F-20050312	吉田★★	1939/02/24	
F-20050323			通行販売の原理
F-20050324	加藤★★		協同組合運動ノ原理
F-20050379			第三者の爲めにする契約に就て